

たまがわの風

平成 23 年 7 月 28 日

大阪府立たまがわ高等支援学校

校長室発

NO. 4

校長室からの情報発信を始めるにあたり、いろいろとネーミングを考えていましたが、校歌の 2 番の一節「♪たまがわの風にのせて伝えよう♪」から引用し「たまがわの風」としました。

日本教育会の機関誌に依頼を受けて寄稿しました。

「夢」と「光」

大阪府立たまがわ高等支援学校校長

鈴木 和夫

20 数年間、高校の体育教師をしていた私が、管理職として支援教育の世界に入って 10 年が過ぎました。

校長として迎えた最初の始業式で、キング牧師の演説「I Have a Dream」(私には夢がある)の一節を紹介しました。「いつの日か、兄弟として同じテーブルに向かい、腰掛ける 때가来るという夢が。」

この演説から 46 年後にアメリカ初の黒人大統領オバマ氏が誕生します。数年前には、想像もしなかったことでした。その時の始業式は、「夢」を持ち「チャレンジ」しましょうという内容でした。まだまだ困難は多くあるでしょうが、オバマ氏の大統領就任は「夢」と「チャレンジ」が、新しい歴史を作った瞬間でもあります。

障がいのある生徒たちの社会的自立や社会参加には、まだまだ多くの困難があることは事実です。しかしながら、パラリンピックで、続々と世界新記録が生まれるのは、選手の人たちの運動能力が飛躍的に向上したからだけではなく、社会環境が少しずつ前進してきたことが大きな要因です。社会や制度を変化させ向上させる原動力は、障がいのある生徒たちの「夢」と「チャレンジ精神」だと確信しています。我々はそのチャレンジャーたちに最も適切で有効な支援を提供するコーチであることに誇りを持たなければなりません。

日本では、40 数年前の同じころ、「すべての人々が区別なく暮らせる社会を」と訴え続けた、近江学園の創始者である糸賀一雄氏が「この子らを世の光に」と題した著書を発刊されました。「この子らを・」と「この子らに・」の違いを延々と時間をかけて論議したと聞いています。私は、キング牧師の演説と糸賀氏のこの言葉が、40 数年前、時を同じくして日本とアメリカで世の中に発信されたことに、強い感動を覚えます。

この教育にかかわるようになって、20 数年間の高等学校での教員生活を振り返りながら、次々とインパクトを与えてもらう言葉や人に出会うことができます。「教師という職業を選んだのではない！教師という生き方を選んだのだ！」と胸を張って言えるよう残された時間を生徒と共に有意義に過ごしたいものです。